

平成25年度 東蒲原郡 道徳部 活動報告

部長 篠原 美智子（津川小）

1 研究主題

道徳的実践力を高める道徳授業の在り方

2 研究の概要

授業研究を通して、研究主題について研修を深めた。また、講師を招いた学習会や各部員の実践報告会を行い、指導力を高める研修を行った。

3 研究の実際

(1) 授業研究

阿賀町立三川小学校3年担任 関塚 友希 先生から、授業公開をしていただいた。

○主題名 「思いやる気持ち」 2-(3)友情・信頼

○資料名 「たまちゃん、大好き」（出典 永岡書店）

相手の立場や気持ちを深く考え、相手を思いやることの大切さに気付くことをねらいとして授業を行った。資料は、児童がよく知っている漫画「ちびまる子ちゃん」の絵本を用い、テレビ画面を使って読み聞かせを行った。主人公まる子の気持ちを考えさせたい場面ごとに話を止め、資料提示を工夫していた。ねらいにせまる主発問を考えさせるところでは、教材と児童の実態が合っていたかどうかを検討された。



終末の展開では、導入で児童に聞いた友達とけんかをした時の気持ちを再度振り返らせ、授業後の変容を比べることもできたのではないかという意見もあった。教材と実生活が結びつき、児童の共感を得ることが道徳的実践力を高めることにつながるといことが分かった。

(2) 学習講演会

阿賀野市立水原小学校教頭 土田 暢也 先生を講師にお招きし、道徳授業の実践例をたくさん紹介していただいた。

「いじめに立ち向かう実践意欲を高める単元づくり」では、道徳授業で学んだことを実践できる教育活動（国語・学級活動）を計画的に実施することで、いじめを解決しようとする実践力をより高めることができることを教えていただいた。また、資料や発問については、以下のことを学ぶことができた。

- ・ねらいを見すえ、児童に考えさせたいことに合わせて資料を分割して提示する。
- ・資料は、教師が範読し、児童にもじっくりと読ませて考えさせる。
- ・人物の行動を予想させ、その理由を考えさせて、紹介し合うことが重要である。
- ・視聴覚教材を効果的に活用することで児童の心により響いたり、考えをより深めたりできる。

4 成果と課題

授業研究による指導方法の検討、講師の土田教頭先生の豊富な授業実践・資料及び部員の実践例の情報交換により、今後の道徳授業にすぐに活用できる研修を深めることができた。児童の実態に合わせた資料の選定、児童に考えさせる発問の吟味について、研修を継続していく必要がある。